

【「飲水思源」の優しい世界】

水の歴史資料館は上下水道事業の百周年を記念して整備された名古屋市の上下水道事業の歴史や役割、防災について分かりやすく学べる歴史資料館です。災害時に地域の方が操作して応急給水できる施設として給水区域内にすべての市町村立小中学校に整備している地下式給水栓の操作講習が今年度から始まったことを知り、施設を訪れました。水道と下水道の仕組みが「見える化」しているので、水がどのように浄化され、私たちの元に届くのか。その過程が、ジオラマや分かりやすい展示でしっかり理解できました。百年以上も前に、これだけの生活インフラを設計し、運用していた技術力と情熱に圧倒されました。

「毎日私たちがおいしいお水を飲んでいるのは、木曽川の水質を保とうと努力をしている上流に住んでいる人々のおかげなんだ。だからお水を飲むときは、源を思おう。」

今年度から始まった操作講習は私が応募第一号だったそうです。資料館の方が、とても嬉しそうに話してくださいました。地域や人々の役に立てること、環境に貢献できることが仕事のやりがいだとも教えてくださいました。マンホールの蓋は四十キロ以上あり、全然動かすことが出来ませんでした。マンホールが重くて危険なので作業時は、コーンを立てて安全を確保すること、水栓チェックや、開栓後、しばらく放水をしてから飲める状態か確認をする簡易水質検査など講習のポイントを教えてくださいました。開栓された応急給水施設の場所は、上下水道局のウェブサイトから検索することが出来ます。災害時の対応も日々進化している点に驚きました。

私が住む名古屋市中では大きな地震や災害は起きていません。名古屋市上下水道局の方々は阪神淡路大震災や東日本大震災など大きな災害が起きたときに、被害情報の調査などの応援に行かれています。日本だけではなく、開発途上国の水問題解決に向けて、独立行政法人国際協力機構などと連携してメキシコなどの海外の技術支援にも参加しています。起きてほしくないけれど、もし何か名古屋で災害が起きたときには、きっと色々な方が名古屋を助けしてくれると思います。名古屋の水を守ってくれる木曽川の人々に感謝をしようと思えば、教えて下さった資料館の方。木曽川の水質を守ってくれる人たちの感謝の気持ちをもつことと同じくらい、当たり前前の「水」を当たり前前に使えるようにしてくださっている水道局の方の緻密なシステムと絶え間ない努力にも感謝をしたいと強く思いました。私にできる

ことは水を大切に扱うこと、そして「飲水思源」の優しい世界をなるべくたくさんの人に伝えていくことだと思っています。